

## I 事業計画

平成22年度の事業環境は、引き続き厳しい状況が見込まれるが、中長期的視点から業務の改善と効率化を図り、調査研究や研修事業を積極的に展開する。

また、新しい公益法人制度に適合した新法人への円滑な移行に備え、新公益法人の基準に沿った適切な法人運営を図る。

### 調査研究事業

#### 〔1〕調査研究

##### 1. 受託調査研究

大都市圏及び中小都市圏の整備、地域の観光を含めた産業の振興、まちづくりを基本とした地域再生・活性化方策、中山間地域等条件不利地域の振興方策、地域情報化対応、リスクや災害対応方策等安全・安心な生活実現のためのさまざまな仕組みづくり等に関する調査研究を国、地方公共団体、各種団体、民間企業等から受託する。

##### 2. 研修事業の受託

さまざまな事業戦略、地域政策にかかわる豊かな人材の育成のための研修事業を受託する。

###### (1) 若手経営者研修の実施

若手経営者等を対象に社会・経済情勢に関する最先端情報、マーケティング並びに事業展開に関するマネジメントをテーマとした地域活性化に資する人材育成のための研修を実施する。

###### (2) 地域リーダー政策形成研修の実施

若手の地方公共団体職員を中心として、地域づくり及びまちづくりにおける具体的な諸政策の立案、中心的戦略を導き出すための方法論、地域分析手法を習得すること等を目的とした実践型の研修・アドバイザー業務を実施する。

##### 3. 自主研究

新しい時代に対応した地域づくり及びまちづくりを支援するため、市町村の統計資料や先進的な地域づくりに関する各種資料を収集・整理・提供する。また、まちづくりの取組み等について、大学、研究機関、地方公共団体、民間事業者等と情報交換を行い、その成果を研究会やシンポジウム、学会、インターネット等を利用し、関係者に情報提供する。

## 研修事業

### 〔1〕出版

#### 1. 出版計画

建設技術者の施工技術の確保及び向上等を図るための教育関係図書及び専門技術図書として施工管理技術テキスト、施工管理技術検定試験問題解説集録版等118,090部を刊行する。

##### (1) 出版計画

	(図書種類)	(図書点数)	(販売計画部数)
	種類	点	部
教育関係図書	30	45	103,050
専門技術図書	9	12	15,040
合計	39	57	118,090

##### (2) 販売促進

イ. 施工管理技術テキスト、問題解説集等の教育関係図書を技術検定試験受験願書販売開始の1ヶ月前を目途に発行する。

ロ. 書店へ試験情報、出版案内、新刊チラシ、ポスター等受験に関する情報を適時に提供し、書店での販売を促進する。

ハ. 会社の研修・資格担当者、業界団体、工業高校等の教育機関等への刊行物の案内を積極的に行うことにより、直接販売のルートを拡充する。

ニ. オンライン書店(アマゾン、セブンアンドアイ等)での販売を強化するため、取次業者との連携を図る。

ホ. 出版物の購入申込み、配送手配、在庫管理等の販売管理システムをより一層改善し、業務の効率化・迅速化を図ることにより、顧客サービスの向上を図る。

#### 2. 出版企画

専門技術図書について、法令改正や技術・工法の変化を踏まえ、既刊技術図書の改訂、発行を検討する。

### 〔2〕研修

向こう3ヵ年の研修事業の活動方針である中期計画「ステップアップ2011」の2年目の本年度は、土木、建築、管工事、電気工事に係る施工管理技術検定試験の準備講習について、受講者の施工技術の向上を目指し、内容の充実と効率的な講習会場の運営に努め、全国236地区、264会場、計画人員17,320人で実施する。

## 1. 実施計画

### (1) 土木研修部門

	(地区数)	(会場数)	(計画人員)
	地区	会場	人
(当研究所主催のもの)	42	52	3,340
(当研究所後援のもの)	54	58	2,300

### (2) 建築研修部門

	(地区数)	(会場数)	(計画人員)
	地区	会場	人
(当研究所主催のもの)	42	49	2,900

### (3) 管工事研修部門

	(地区数)	(会場数)	(計画人員)
	地区	会場	人
(当研究所主催のもの)	45	48	3,930

### (4) 電気工事研修部門

	(地区数)	(会場数)	(計画人員)
	地区	会場	人
(当研究所主催のもの)	53	57	4,850

## 2. 募集業務等の推進

- (1) 業界団体等との連携を強化し、試験、講習会に関する情報を関係者に広く発信する。
- (2) 業界団体に地元受講申込み受付業務を委託し、応募者の利便を図る。
- (3) ホームページの一層の改善を進めるとともに、積極的に講習会情報等を配信するなどホームページでの広報、申込み機能を拡充し、応募者の利便の向上を図る。
- (4) 受験対策講座利用企業への情報提供サービス制度(ちいき倶楽部)の会員の拡充を図るとともに、会員に試験・講習会に関する情報をきめ細かく提供する。

## 3. 講習内容及び教材の充実

- (1) 発行図書について、外部委員、講師、受講者等の意見を得て、施工技術の向上に資するよう内容の充実を図る。

- (2) 過年度試験問題の傾向を分析し、より一層受験対策に役立つよう教材及び講習内容の充実を図る。
- (3) 受講者に予習用教材を送付し、受講意欲を高め、講習効果の向上を図る。
- (4) 1級学科試験実力テスト、2級学科試験実力テスト（土木・建築のみ）（会場参加型、在宅型、計画人員 5,510 人）を実施し、合格率の向上を図る。
- (5) 1級及び2級実地試験の対策として、教材、講義方法及び施工経験記述添削指導（計画人員 6,000 人）の充実を図る。

#### 4. 講師陣容の拡充

関係機関及び業界団体の協力を得て、広く人材を求めるとともに、新規の講師には事前説明を行い、講師陣容を拡充・強化する。

### 〔3〕 広報

- (1) ホームページの閲覧とインターネット申込みシステムの利用促進のため、新着情報等による情報提供の充実を図る。
- (2) メールマガジン（随時配信）により、受験対策講座、出版図書及び技術検定試験、法令の動向等、建設企業や建設技術者にとって有用な情報を提供する。
- (3) 土木・建築・管工事・電気工事施工管理技士のメリット、技術検定試験の実施日程、受験資格等の情報をホームページ上の「施工管理技士受験ガイド」により提供する。
- (4) 2級施工管理技術検定学科試験を受験する工業高校生等に学習用教材を提供し、若年層の技術力向上を支援する。

### 〔4〕 その他

評議員会、理事会を次により開催する。

平成22年5月 評議員会、理事会

平成23年3月 評議員会、理事会

その他、必要に応じ臨時の評議員会、理事会を開催する。